

蒜山野営場 ススキ草原、湿地内の動物・植物

動物

- アカハライモリ

体長 10 cm になる両生類で、腹部の明るい赤と黒の斑点模様が特徴的である。テトロドトキシンという危険な毒がある。万が一触れた場合は、その部分をしっかりと洗浄すること。

- ムカシトンボ

体長は 5cm 前後、翅の長さは 3 cm 前後の中型のトンボで、かつては広範に生息していたムカシトンボ族の唯一の残存種である「生きた化石」だ。

- ゴマシジミ

前翅長 18-24 mm。幼虫はアリの巣に運ばれ、アリの幼虫を常食し、孵化する。2019 年現在、絶滅危惧種。

草原植物

- オミナエシ

多年草。8 月に開花する、和歌にも詠まれる秋の七草のひとつ。女郎花という語は緑と黄色の着物のかさね色目のことも意味する。

- ユウスゲ

多年草。明るい黄色でレモンの香りのする花。7-8 月頃、花は夕方に開き、翌日の朝にはしぼむ。乾燥した花は「金の糸」と呼ばれ、アジア料理の一部に材料として使われている。

- ツリガネニンジン

多年草。8-9 月に淡紫色の下を向いた鐘形の花を咲かせる。根は長くて白く人参に似ていることからツリガネニンジンという名がついた。

湿地の植物

- ノハナショウブ

多年草。花期は 6 月で、赤紫色の花びらの基部に黄色のすじが入るのが特徴。世界中で生育されている現代的なアヤメの野生原種。

- キセルアザミ

多年草。花期は 8-10 月で、下向きに赤い花をつける。日本の伝統的なたばこパイプである煙管の形に似ていることからこの名がついた。

- テンツキ

一年草。赤褐色の小穂で果実期は 7-11 月。小穂が上を向くので「天突き」と呼ばれるようになったという説がある。